

ふたばこども園

園 便 り 5 月 号

ふたばっ子

令和5年5月1日発行

文責 園長 納富博文



しょうぶ

旭学園「校祖祭」・「創立記念日」

旭学園は今からさかのぼること126年前の1897年（明治30年）に、校祖 中島ヤス 先生が近隣の子女の切望により家塾を創設されたことが始まりです。

旭学園では、毎年5月18日を「創立記念日」と定め、前日の17日に「校祖祭」を行い、中島ヤス先生の遺徳を偲び、建学の精神を次代に引き継いでいます。

中島ヤス先生は、朝の太陽が空に昇るがごとく校運隆々(コウウンリョウリョウ)となることを願われましたが、太陽の光が万民に等しく降り注ぐように、この学園の教育がすべての子どもたちに公平無私(コウヘイムシ)であることを願われて、『旭』と名付けられました。これが『旭』学園の由来です。



校祖 中島ヤス先生



旭学園全景

教育・保育実習が始まります。

ふたばこども園は旭学園・女子短大の付属園です。保育士や看護師などを目指す学生が、実習にたくさん訪れます。子どもたちは「お姉ちゃん先生」の来園を楽しみにしています。また、子どもたちは多くの人に出会うことで、社会性やコミュニケーション力がたくさん身についています。

今年度も4月24日から女子高看護専攻科の学生が小児看護実習に来ています。今後、5月～10月にかけて、中村学園大学短期部の2年生、女子短大1、2年生、西九大の3年生など、多くの短大や大学から実習に来ます。

また、今年度も県教育委員会から依頼され、6月14日(水)に今年度新規に採用された先生たちのために保育を公開します。ふたばの教育・保育のやり方が県内の幼児教育の参考・モデルになっています。

災害時引き渡し訓練

最近、大雨や台風、地震などの自然災害が頻発しています。園では毎月、火災や地震、不審者侵入等の避難訓練を行っています。ただし、これまで緊急の災害時における「引き渡し訓練」をまだ行えずにいます。緊急に大雨による災害が迫ったり、大きな地震が起きたりした場合に、お子様を無事に保護者様にお引き渡しするための訓練です。

数年前から計画はしていましたが、コロナの流行や準備が整わず実施に至りませんでした。しかし、いつ起こるかわからない自然災害に猶予はないため、今年度は実施をすることにしました。実施日は6月16日(金)の午後から行う予定です。詳細については、後日、コドモン等でお知らせします。

初めての実施で、何かと不手際な点もたくさんあると思いますが、子どもたちの安全と命を守るため、どうぞご理解とご協力をお願いします。

個人情報保護へのご理解とご協力を

今、いろいろな情報伝達アプリが発達し、世界中のニュースや様子を瞬時に知ることができます。また、家族や友人等と情報の伝達や共有も手軽にできるようになりました。

そうしたアプリは大変便利で日常生活において欠かせないものになっています。利便性が高いがゆえに、利用の仕方を一歩間違えると大変危険な事につながります。SNSやLINEを利用した犯罪が身近でもたくさん発生し、後を絶ちません。

警察のサイバー官の人が「写真や動画の情報はパソコンやスマホ等の電子機器に少し詳しい人であれば、どこで撮影されたものかすぐ分かる。その場所から人物を特定して悪用していくことなど簡単なこと。また、拡散された情報を削除することはなかなか難しく、拡散のスピードに追いつけない。」と言われていました。

個人情報や間違った情報、誹謗中傷が一端拡散されてしまうと、本当に取り返しのつかないことになります。SNSやLINE等に「ただアップしただけ」と、アップした人は気楽に考えているかも知れませんが、莫大な慰謝料が発生するかも知れません。なによりも、された人にとっては、大変迷惑なことになります。

園ではそうした状況を心配し、「自分の子どもさん以外や園の職員、園舎などが写っている写真や動画は極力撮らないようにしてください。また、SNS等への配信は厳に控えてください。」とお願いしているところです。ご理解とご協力をよろしくお願いします。